

# 英語で楽しむ名作絵本

実施報告

【日時】 平成30年7月21日(土) 午前10時~11時30分  
【場所】 吉敷地域交流センター 講堂  
【講師】 ラボ・パーティー 講師 大黒 みづえ 氏  
【受講生】 大人10人 / 子ども11人(小学生)



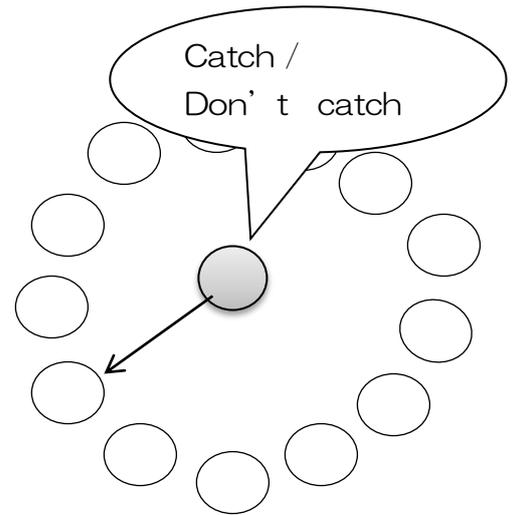
カナダ出身のロバート・アーセルさんと一緒に、体を動かしながら楽しく英語にふれましょう！

## Catch/ Don't catch

まずはアイスブレイクで緊張をほぐしましょう！

### 【ルール】

- 1人がまん中に立ちます。
- 残りの方は、中心を向いて円をつくりましょう。
- まん中に立っている人は、周りの人に向かって「Catch!」「Don't catch!」と言いながらドッチビーを投げましょう。
- 投げられた人は言われた言葉の通りに行動！
  - 「Catch!」…キャッチ
  - 「Don't catch!」…キャッチしてはダメ
- 失敗したら交代しましょう。



## Back and forward



### 【ルール】

- 4つの列をつくり、前の人の肩に手を置きましょう。
- ロバートさんと同じように言いながら、四方向へジャンプ！  
例) "Forward" なら "Forward" と言いながら前へ。  
同じように "Back" なら後ろ、"Right" は右へ、"Left" は左へジャンプ。
- 今度は言われた方向と反対へジャンプ！  
"Forward" なら "Back" と言いながら後ろへジャンプしましょう。



◎グループ内で教え合い、発音やジャンプの練習をしました。

## 紙芝居「かぶ」

小学校 1 年生の教科書にも載っている「かぶ（おおきなかぶ）」。  
一文ずつ、英語と日本語で読み聞かせていただきました。



The turnip

かぶ

英語



日本語訳

の順で読んでもらいました。

### よく出てきた表現

- Oh, my well ! What a big turnip it grew into.  
(おやまあ、なんて大きなかぶになったこと！)
- They pulled and they pulled. (引いても引いても…)



やってみよう!

役に分かれて、動きながらよく出てきたセリフを言ってみましょう！

おじいさん (Grandpa)  
おばあさん (Grandma)  
孫娘 (Granddaughter)  
いぬ (Dog)  
ねこ (Cat)  
ねずみ (Mouse)

- 役ごとにセリフを練習！
  - ↳ どの役もセリフは一緒です。(なんども出てきた表現を言おう！)
  - ↳ ロバートさんの口の動きを見ながら発音しましょう。
- 物語に合わせて動き、セリフを言いましょう！
  - ↳ 最後は、かぶ役のロバートさんを抜きましょう。

ねこ役さん  
あつまって！



Oh, my well! What a big turnip  
it grew into!



うんどこしょ！  
どっこいしょ！

They pulled and they pulled.



## 動物の鳴き声

「かぶ」を読んでもらうと、英語と日本語で動物の鳴き声が違いました。  
いろんな動物を比較してみましょう！

日本語	英語
いぬ … ワンワン！	→ bowwow (バウワウ)
ねこ … にゃんにゃん	→ meow (ミャオウ)
ねずみ… チュウチュウ！	→ squeak-squeak (スクィーク スクィーク)
カエル… ゲロゲロ！	→ ribbit ribbit (リビット リビット)
ぶた … ぶーぶー	→ oink oink (オインク オインク)
ゾウ … パオーン	→ なし



など

動物の鳴き声や生活習慣の違いなどが、外国の人とのコミュニケーションのきっかけになるかも！？

## Seven steps

- 1～10を英語で数えてみましょう！

One Two Three Four Five Six Seven Eight Nine Ten  
1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

One two three four five six seven.  
One two three four five six seven.  
One two three one two three  
One two three four five six seven.  
One two three one two three,  
One two three four five six seven.



輪になって、歌いながら手を叩いたりまわったりしましょう。  
だんだん早くなりますよ～！

## 英語を学ぶ理由

- 世界中のいろんな人とつながれるようになる。
- 自分の中の世界観が広がる。↓

言葉には、その国の習慣や文化が背景にあり、その国の言葉でしか表現できない状況や事柄があります。

例)日本語の「仕方ない」は、やはり英語の“it can't be help”ではしっくりこない。

言葉を知ることによって、いろんな国の文化やそこに住む人たちの考え方に触れることができるのです。

## 講座の様子から

1 時間半、英語のゲームをしたり紙芝居『かぶ』を英語と日本語で読み聞かせていただいたりしました。

最初は緊張していた子どもたちも、徐々に声が出るようになり、一生懸命にロバートさんの口の動きを見ながら、発音の練習をしていました。

最後の質問コーナーでは、たくさんの質問がありました。

## ロバートさんへ質問

好きなカナダ料理は？

答え

メイプルシロップとプーティンというフライドポテト。プーティンにはチーズやソースをかけて食べます。

カナダから日本までどのくらいかかる？

答え

西側のバンクーバーからは 7 時間、故郷のウィニペグからなら 17 時間。東側のトロントからは 23 時間かかります。